

わたしたちの高野町

わたしたちの 高野町



高野町教育委員会

高野町教育委員会

学校 年 組

なまえ

わたしたちの 高野町



高野町教育委員会

はじめに

社会が大きく変化していく時代において、わたしたちの郷土もその姿を変えつつあります。世界遺産への登録や交通の整備などによって高野町を訪れる人が増え、今では海外からのお客さまも多くなりました。その一方で、過疎化や少子高齢化によって町の人口は減少しています。

「町の未来はどうあるべきなのか」

わたしたちは、今ある生活をより便利で豊かなものにしたいと願っています。そして、町は世界遺産の価値とともに発展していく必要があります。

「わたしたちの生活を豊かにしながらも、時代を超えて守らなければならない価値をどう残していくか」

一人でその答えを見つけられないときは、みんなが力を合わせればきっと見つけられるはずです。

この本は、そのために必要な郷土愛を育む目的で作られました。「知ること」や「体験すること」は、郷土への想いを強くします。

そして、わたしたちは、その想いが町の輝く未来を築いていくものと信じています。

高野町教育委員会

高野町民憲章

緑深き山々に包まれた高野町は、歴史の重みと文化の香りが宿る町です。
私たちは、先人の努力を受けつぎ、心のふるさと高野町をこよなく愛し、希望に満ちた“世界に開けゆく文化の町”を創るため、この憲章を定め、その実現に努めます。

1. 歴史と伝統に培われた、仏都にふさわしい魅力あるまちをつくりまします。
1. 緑豊かな森林を愛し、恵まれた自然に調和した美しいまちをつくりまします。
1. 心のふれあいを大切にし、訪れる人々にも思いやりのあるまちをつくりまします。
1. 未来をになう子供たちの夢を育むまちをつくりまします。
1. 心身をきたえ、健康で明るい活力あるまちをつくりまします。



町章

1962（昭和37）年10月1日に制定されました。

高野町の「高」を図案化し、「塔」（歴史）をかたどり、「太陽」（町政の発展）と「月」（平和と文化）をいだいた形をしています。これは、永遠に繁栄する高野町を表したものです。

町の花

シャクナゲ（石楠花）

シャクナゲは、山地に生えるツツジ科の常緑低木で、厚みと光沢のある葉は寒い冬にも耐えることができます。

初夏になると淡紅色の優雅な花が集まって咲き、存在感を増します。

花言葉は「荘厳、威厳」で、「花木の女王」と言われています。

町の木

コウヤマキ（高野槇）

コウヤマキは、コウヤマキ科の日本固有の樹木です。本州の中部から近畿・四国・九州に分布する常緑針葉樹です。特に高野山に多く生育することから、この名が付けられました。

枝葉は仏前のお供えとして、また土産物として多くのひとびとに親しまれています。



もくじ

第1章 わたしたちのまち 高野町 6

◎高野町のすがた 6

- ・高野町の位置と広さ
- ・19の大字
- ・高野町の周辺
- ・土地のようす
- ・河川のようす

◎高野町の人口と土地利用 9

- ・人口の移り変わり
- ・土地利用

◎高野町の自然 11

- ・四季の変化と降水量
- ・「高野」の名を持つ植物
- ・高野六木
- ・高野町で生息する動物たち

◎資料 16

- ・四季おりおりの花や風景

第2章 高野町の暮らしを支えるしくみ 18

◎町の人びとのための仕事 18

- ・町の政治のしくみ
- ・町長の仕事
- ・町役場の仕事
- ・町議会の仕事
- ・町議会のような

◎町の予算

- ・一般会計 歳入歳出決算の内訳〔2002（平成14）年度と2020（令和2）年度〕

◎みんなの役に立つ施設 22

- ・観光情報センター
- ・高野町まちかどサロン～縁～
- ・学びの交流拠点整備事業
- ・高野町の小学校と中学校

◎みんなの暮らしを守る施設 24

- ・くらしとごみ
- ・くらしと水
- ・高野山総合診療所
- ・安全、安心な暮らしを支える警察
- ・火災、災害からくらしを守る消防

第3章 高野町内のさまざまな仕事 38

◎田畑で農作物を作る仕事 38

- ・耕地のようす
- ・米作り
- ・畑で作られてきた農作物
- ・野菜作りのようす
- ・特色ある工夫した取組
- ・農業を守る取組
- ・地産地消の取組「高野やま里市」
- ・これからの高野町の農業

◎資料 44

- ・高野町の農家の推移
- ・用語の解説
- ・高野町内の各地区での野菜栽培
- ・一部の地域で生産している農作物など
- ・米作り
- ・花坂地区の産直販売所「なるこ川販売所」

◎木を育て森林を守る仕事 46

- ・保護されてきた森林
- ・国有林と保管林
- ・国有林の管理
- ・富貴の林業
- ・高野町の現在の森林と林業
- ・わたしたちのくらしと森林
- ・健全な森林と木材の生産
- ・木育の取組

◎資料 54

- ・日本農業遺産に認定

◎ものを作る仕事 55

- ・高野町のもの作り
- ・位牌作り
- ・薄板作り
- ・檜紐作り
- ・著作

◎資料 60

- ・高野どうふ作り
- ・高野紙作り（紙漉き）

◎資料 60

- ・線香

◎サービス、販売などの仕事 62

- ・高野町のサービス、販売の仕事
- ・宿坊
- ・和菓子屋
- ・薬屋
- ・数珠屋
- ・法衣店

◎資料 66

- ・お寺の仕事

第4章 高野町の歴史 67

◎空海以前の高野山 67

- ・大昔の高野山
- ・丹生都比売神社と高野山

◎空海の活躍 68

- ・求道の青年時代
- ・真言密教との出会い
- ・高野山を開く
- ・すぐれた文化人

◎空海以降の高野山 69

- ・平安時代の高野山
- ・鎌倉時代の高野山
- ・室町時代の高野山
- ・安土桃山時代の高野山
- ・江戸時代の高野山
- ・明治時代以降の高野山

◎資料 76

- ・信仰
- ・高野、熊野参詣道
- ・新しい道

◎各地域のくらしと歴史 80

- ・花坂
- ・湯川
- ・大滝、相ノ浦
- ・細川
- ・西郷
- ・西ヶ峰、南、林と平原、檜原、杖ヶ藪、東又
- ・上筒香、中筒香、下筒香
- ・東富貴と西富貴
- ・現在の高野町になるまで

◎資料 97

- ・落人のかくれむら
- ・天誅組と富貴
- ・神谷の仇討ち
- ・索道
- ・高野山への電車
- ・ケーブルカー
- ・高野山と富貴をつなぐ道

第5章 高野町の文化 102

◎各地区の祭りや行事 102

- ・高野山 青葉祭り（春）

- ・高野山 ろうそく祭り（夏）
- ・高野山 明神社秋季大祭（秋）
- ・高野山 修正会（冬）
- ・花坂 鬼もみ（夏）
- ・細川 傘ほこ祭り（夏）
- ・秋祭り（秋）

◎伝承 106

- ・地域に残る昔話

◎文化財 112

- ・高野町の文化財

◎資料 114

- ・金剛峯寺
- ・高野山 霊宝館
- ・高野町郷土資料室
- ・高野山大学図書館

第6章 高野町の今と未来 116

◎世界遺産 日本遺産 116

- ・日本の世界遺産
- ・紀伊山地の霊場と参詣道
- ・高野町を中心とした世界遺産
- ・高野町を中心とした日本遺産

◎魅力あるまち高野町 120

- ・観光のまち 高野山
- ・注目を集めるようになった高野山
- ・外国人観光客を引きつける取組
- ・高野山ならではの体験

◎高野町と歴史、文化でつながるまち 125

- ・歴史でつながるまち 善通寺市
- ・高地にある聖地でつながるまち アッジジ市（イタリア）
- ・世界遺産でつながるまち ルンビニ（ネパール）
- ・空海でつながるまち 福建省福州市鼓楼区（中国）

◎高野町のめざすまちづくり 130

- ・高野山らしい景観
- ・安全で安心なまち
- ・子育て、学びのまち
- ・協働のまちづくりの推進

◎資料 135

- ・写真で比べる高野山の昔と今
- ・郵便局
- ・高野電報電話局
- ・関西電力出張所
- ・高野町商工会

◎ものがたり お大師さまと高野山 140

- ・お大師さま 入定までの足あと